

アウトレット開業による 渋滞への対応 を要望しました。

6月議会の建設委員会で、アウトレット開業により、周辺工場の通勤者や物流車両、地元住民の皆さんが懸念されている「国道473号岡崎額田バイパス」の渋滞対策について質問。

交通の現状と見直し、4車線化の取り組みについて伺ったところ、以下のような回答を得ました。

- バイパスの交通量は、2019年度の約7,500台/12時間から、2022年度には約8,200台/12時間へと増加。
- 通勤や物流車両の渋滞緩和、生活道路への流入抑制のため、国の交付金で4車線化事業に今年度着手した。
- 2025年度はトンネル部分の地質調査を実施予定。



アウトレット開業による岡崎市東部エリアの広域観光交流拠点化に期待が高まっていますが、現状の2車線では渋滞が危惧されています。

4車線化による人流・物流の円滑化と地域発展のため、引き続きタイムリーな道路整備を要望していきます。

活動のご報告 岡崎市や幸田町を中心に、皆さんの要望を伺っています。

4/4 三河高等技術専門校の開校式に参加

2024年に新館がオープンした岡崎高等技術専門校。ロボットシステム科や建築物施工科等の新設で、新たに三河高等技術専門校としてリニューアルしました。県の費用負担で離職者や在職者、新卒者の就職・スキルアップのための訓練が行われています。



5/1 みあい特別支援学校を訪問

岡崎市議の原さん・白井さんとともに、みあい特別支援学校を訪問。児童生徒185人で開校し、途中12教室を増築したとはいえ、2025年は348人に。保護者の方の心配と先生方のご苦労も踏まえ、岡崎市議と協力して県議の立場で取り組みを進めます。



5/29 岡崎工科高等学校を訪問

高卒就職活性化プロジェクトのため、岡崎工科高等学校を訪問。久永校長先生から最新の状況をヒアリングしました。企業と生徒・保護者をどのように結びつけるか、学校現場の課題を含めて考えていきます。



2025年11月 三井アウトレットパーク 岡崎が開業



愛知県初のアウトレットモールが、岡崎市の名鉄「本宿」駅の徒歩圏内にオープンします。アウトレットゾーンには、バラエティ豊かな約160店舗。併設される公園型施設「OKAZAKI MARKET」には、地域の名産品や食材を扱う地元有力店など約20店舗がそろいます。

詳しくはこちら



山口 たけし

愛知県議会議員（岡崎市・幸田町選出）

あいち民主県議団（監事）／建設委員会所属

子ども・子育て対策特別委員会所属

『今日より明日を良くしよう!』

この巻頭言は参議院選挙の真っ最中に書いており、読んでいただくころに選挙の結果は出ていますが、皆さんの受け止めはいかがでしょう？

「選挙前はPRしてるが、普段は顔も見ない」といった声はよく聞きます。一方、「行事に顔を出してくれるので名前は知っているけど、どんな政策に取り組んでいるかは知らない」とい

たご意見もあります。

私も愛知県（岡崎市・幸田町）の将来を考え、課題への対応や、皆さんのご意見をもとに、『今日より明日を良くしよう!』との思いで取り組んでいます。そのプロセスや結果をどれだけお伝え出来ているか悩みは尽きません。

4年任期の折り返しを過ぎる中、どのように発信すべきか考えて参ります。



参議院選挙での応援演説の様子。本当に暑かったです。

2026年に 愛知県で開催!

第20回 アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）

第5回 アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）

4年に1度、アジアのトップ選手が集い、力を発揮する第20回アジア競技大会が2026年9月に、第5回アジアパラ競技大会が2026年10月に開幕します。愛知県内のさまざまな会場で行われるので、今から楽しみにしてくださいね。

第20回 アジア競技大会

開催期間：2026年9月19日（土）～10月4日（日）



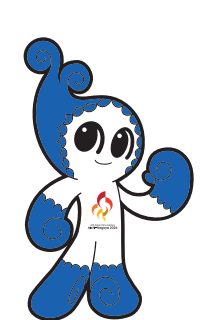
アジア・アジアパラ競技大会は 平和のための祭典です

第二次世界大戦後、戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆を、スポーツを通じて取り戻し、アジアの恒久平和に寄与したいとの願いを込めて開催されたのがアジア競技大会の始まりです。今大会では大幅なコストダウンを目指し、「既存施設の使用」や「選手村の建設はせずに移動式宿泊施設を活用する」など、従来の大会と比べて新たな取り組みが採用されています。また、「パラアスリートによる学校訪問」など、子どもたちの多様性を育むための事業も行っています。ぜひご注目ください。



第5回 アジアパラ競技大会

開催期間：2026年10月18日（日）～10月24日（土）

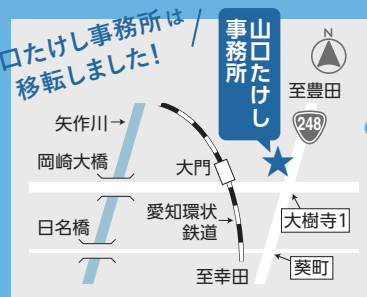


ご意見などございましたら

下記までご連絡ください。

発行 山口たけし事務所

〒444-2134 岡崎市大樹寺3丁目1-7-105号
TEL: 0564-21-6376 FAX: 0564-21-2388
E-mail: takeshi-yamaguchi@tmwu.or.jp



お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



公式サイト



アジア競技大会、アジアパラ競技大会の会場を紹介！

2026年に開催されるアジア競技大会とアジアパラ競技大会は、主に愛知県内のさまざまな会場で開催されます。応援したい競技や近くの会場をチェックして、観戦にのけてみませんか。

第20回 アジア競技大会 (2026/愛知・名古屋)

アジア競技大会では、**41競技が53の競技会場**で開催されます。

① 愛知国際アリーナ

- バスケットボール
- 柔道



2025年7月にオープンした愛知国際アリーナも会場の一つ！名城公園の一角にあり、立ち見を含めた最大収容人数は国内最大級の1万7000人です。



選手団:
最大15,000人
参加国数:
アジア45の国と地域

53の競技会場で開催予定。
詳細はホームページで確認を！



③ 愛知県国際展示場 [Aichi Sky Expo]

- ブレイキン
- 自転車競技 (BMXフリースタイル)
- Eスポーツ
- フェンシング (フルレ/エペ/サーブル)
- スケートボード



国際空港直結型の国際会議・展示場で、最旬競技が開催。Eスポーツでは、「ストリートファイター6」や「ぶよぶよeスポーツ」「ポケモンユナイト」など全11種目が採用。



開閉会式の会場はここ。

② 名古屋市瑞穂公園

- 陸上競技【陸上競技場】 (トラック/フィールド、マラソン)
- サッカー【ラグビー場】
- ラグビー【ラグビー場】
- セパタクロー【体育館】



④ 名古屋市総合体育館

- 水泳(水球)【レインボープール】
- 体操【レインボーホール】 (体操/新体操/トランポリン)



⑧ 安城市総合運動公園

- ソフトボール【ソフトボール場】
- 近代五種

近代五種はフェンシング、水泳、オブスタクル(障害物レース)、レーザーラン(射撃とランニング)の5種目を1日で行う競技。



⑨ 岡崎中央総合公園

- アーチェリー【多目的広場】 (リカーブ/コンパウンド)
- 野球【野球場】
- バレーボール【総合体育館】



岡崎市でのボランティアを希望された方は、1,000人を超えました。ありがとうございます。私も参加しますので、選手や大会関係者と一体となった盛り上げをお願いします。そして何より、アスリート・パラアスリートの素晴らしいプレーを、この機会に直接見て、感じて、応援していただきたいと思います。



⑧ 岡崎中央総合公園

- アーチェリー【多目的広場】
- 座位バレーボール【総合体育館】



選手団:
3,600~4,000人
参加国数:
アジア45の国と地域

19の競技会場で開催予定。
詳細はホームページで確認を！



第5回 アジアパラ競技大会 (2026/愛知・名古屋)

アジアパラ競技大会では、**18競技が19の競技会場**で開催されます。

① 愛知国際アリーナ

- 車いすバスケットボール



② 名古屋市瑞穂公園

- 陸上競技【陸上競技場】
- テコンドー【体育館】

陸上競技には、車いすや義足、視覚障がい、知的障がいなど、さまざまな障がいのある選手が参加します。



③ 名古屋市鶴舞公園 多目的グラウンド [テラスポ鶴舞]

- ブラインドフットボール



⑤ 名古屋市総合体育館

- ボッチャ【レインボーホール】
- 水泳【レインボープール】

ボッチャは、目標球である白いボールを投げ、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投球して、いかに白いボール近づけるかを競う競技。



⑦ ウイングアリーナ刈谷

- 車いすラグビー

車いすラグビーは、車いす同士のぶつかり合いが許された唯一のパラリンピック競技。



アジア競技大会・アジアパラ競技大会を契機とした愛知県の取り組み

愛知県ではアジア競技大会とアジアパラ競技大会の開催を機に、さまざまな取り組みを行っています。

アジアの国や地域について
動画で楽しく学べる！

大会やアジアの国や地域について学ぶことができる学習教材(動画&ワークシート)を用意。楽しく学んで、大会を観に行きましよう。



パラアスリートが県内の
小学校や特別支援学校を訪問

パラアスリートが、スポーツ・パラスポーツの楽しさや価値、共生社会の大切さなどを直接児童に伝えます。



ロゴマーク「MOVE ON 2026」で
地域を盛り上げよう！

大会の機運醸成や、地域の活性化につながる取り組みを応援するためのロゴマークを制作。事前に届け出を行えば、誰でも無料で使用できます。



アジア各国・地域との
交流を推進する事業に
補助金を交付

大会選手などとの交流事業を行う県内市町村を対象に、補助金を交付。おもてなしや大会の盛り上げにつなげます。

建設資材や人件費高騰による経費の膨張が懸念されており、選手村は建設せず、クルーズ船の活用や移動式宿泊施設の設置などの様々な削減努力を図っています。そうした取り組みで実現する大会だからこそ、愛知県らしく、知恵と工夫による改善の積み重ねと、関係者によるチームワークが、大会の成功に欠かせません。

競技会場の事前準備やバス確保のための小中学校行事の日程変更など、県民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

山口たけしの
思い

